

# 宮城県業務説明会

## 機械（民間）

**Miyagi  
Prefectural  
Government**

# 機械職の仕事

- ◆ 機械設備の整備・維持・管理
- ◆ ネットワークシステムの構築・運用 など

対象：上下水道／工業用水道／ダム／学校／庁舎 など

## 配属先

- ◆ 本庁各課（営繕課、設備課、管財課、水道経営課 など）
- ◆ 地方機関（ダム総合事務所、広域水道事務所、下水道事務所 など）

# 自己紹介 山形県出身

H28.3月 **県外大学卒業**

H28.4月～ **技術系の派遣会社 入社**

某クルマメーカーの車両研究開発の技術支援（実車試験準備やCAE解析 など）

R5.4月～ **入庁  
土木部 大崎地方ダム総合事務所 管理第二班**

大崎管内のダムの維持管理 など

R7.4月～ **土木部 河川課 ダム整備班**

宮城県内のダムおよび河川流域情報システムの維持管理 など

# 志望動機

## なぜ公務員だった？

大雨・洪水などの災害や復興支援の最前線に立つ役割に興味があったから

## なんで宮城県庁を選んだ？

- ◆ 民間のクルマの開発の経験が活かせそうだったから
- ◆ 実家に近かったから
- ◆ たまたま、宮城県で応募していたから（タイミング）

# 担当した仕事

## 大崎地方ダム総合事務所

県管理ダム（大崎管内）の  
維持管理・設備更新・水管理

### 担当業務

- ◆ ダム設備の管理委託や更新工事の発注・積算・監督
- ◆ ダムの点検・環境整備
- ◆ 大雨・地震時の警戒配備 など



# 大変だったこと

- ◆ ダム設備の更新工事の発注  
工事費（お金）の計算は初めての経験で、最初は何が何だかわかりませんでした…
- ◆ ダムの点検・環境整備  
草刈り機・除雪機・ボート操船・チェーンソーの作業
- ◆ 大雨・地震時の警戒配備  
深夜に大雨や大きな地震が来たときは、事務所に急行して対応しました（仮眠はとれます！）

# やりがい、心掛けてのこと

あいさつ と ポジティブシンキング

現場に行って、見て、触ってみる

わからないことを素直に伝える

# 1日のスケジュール

8:30 出勤

9:00 ダム点検出発

12:00 昼休み

13:00

引き続きダム点検

15:00 帰庁

点検報告書作成

17:15 退勤

# 働き方・休み方

各職員が仕事とプライベートのメリハリをつけて仕事をしており、有給休暇取得や旅行などをしやすい雰囲気になっている。



# 入庁前のイメージとギャップ

- ◆ イメージ
  - ・ ひたすら書類作成や確認などの事務作業
  - ・ 定型作業
- ◆ ギャップ
  - ・ 意外と泥臭い作業も多い（環境整備など）
  - ・ 突然の対応や技術的な知識が問われることがある

# 前職とココが違った！ 前職の経験が役に立った！

## 組織内の合意形成 が違った

- ・ 担当外業務も全員で確認（決裁）
- ・ 誰かが勝手に何かをやっていることは基本ない

## クルマの整備・開発経験 が役に立った

- ・ 公用車のバンパー割れを自前で補修
- ・ 定型作業のマクロ処理

# 職場の雰囲気

民間と違い、同じ部署に何十年も所属するということがない。  
(だいたい3年で異動)

→

ベテラン職員でもわからないことがあるため、協力し合うことが基本になっている。  
(お互い聞きやすい環境)



これわからないんだけど・・・？  
私もわからないから〇〇さんに聞こう！

# 働いて感じる宮城県職員の魅力

- ◆ 上下水道・ダムといったインフラ施設や、県立学校等の県有施設など、大規模な施設の工事や維持管理に携わることができる。
- ◆ 仕事とプライベートの両立がしやすい。
- ◆ 有給休暇や育児休暇がとりやすく、趣味や家族と過ごす時間など、プライベートの時間を作りやすい。

# 私の公務員試験対策

当時、宮城県の民間採用向けの過去問の情報が入手できなかったため、以下のように勉強しました。

- ・ 時事問題集（公務員対策本）をスキマ時間に読む。
- ・ 技術士（機械部門・一次）の過去問を3カ年分解く。  
（大は小兼ねる的な発想でした。家で勉強したくなかったので、昼休みに職場の会議室に籠もってコツコツやってみました。）

# みなさんへのメッセージ

- ◆ 機械職の仕事は、安全・安心な県民生活を陰ながら支えるとても重要な仕事です。
- ◆ 様々な分野の業務に携わることになるため、業務を通して専門知識、専門資格や経験を得られます。  
→働きながら自分自身の成長を感じることが出来ますし、飽きずに仕事に取り組めるかと思えます。
- ◆ 私のように、宮城に縁もゆかりもなかった職員も少なくありません。どなたでも歓迎いたします！